

ふれあい名古屋

2024 9月
September



能登町における被害状況の現地調査

CONTENTS

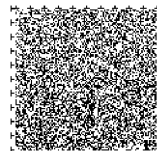
市社協事業紹介	4
社協活動最前線 熱田区社会福祉協議会	5
想いをつなぐリレートーク	6
ほっとはあとコーナー	7
●旬ボラに行く！ 名東おもちゃ図書館ちゃちゃちゃ	
●きらっとボランティア・NPOらいぶ 教員副業コーディネーターまちまち	
●なごやボラめぐり 東区 高岳珈琲クラブ	
からだに優しいいきいきレシピ/ プレゼントつきクイズ	10
インフォメーション	11
ご寄付・ご寄託・賛助会員のご紹介	12

特集

福祉クローズアップ
能登の被災地を支える
社協による
災害ボランティアセンター
の運営支援



な～や



▲ Uni-Voice
高齢者や目の不自由な方
のための音声コードです。



ひとは、ひたむきに。
社会福祉法人
名古屋社会福祉協議会



能登の被災地を支える社協による 災害ボランティアセンターの運営支援

令和6年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」は、石川県能登地方を中心に甚大な被害を及ぼし、半年以上たった今も復興作業が続いている状況です。現在、名古屋市社会福祉協議会では能登町に開設された災害ボランティアセンターの運営支援を行っています。

今回はその運営支援の取り組みについて、地域福祉推進部 ボランティアセンターの野川祐史副所長、加藤壮一郎主事にお話を伺いました。

最前線で被災地の復興を支援する最重要拠点

「災害ボランティアセンター（以下、災害VC）」は、大規模災害の発生時にボランティアの活動を円滑に進めるために被災地に設置される拠点です。被災地の社会福祉協議会（以下、社協）がさまざまな機関・組織と連携し、運営を行っています。

東海・北陸ブロックの社協間では、災害時の応援に関する協定を結んでおり、名古屋市社協では1月15日に応援要請を受け、1月18日から第1クール目の職員派遣を開始しました。その当初、派遣先の能登町では災害VCを立ち上げはしたものの、まだまだ被害規模の見立てをつけることが難しい状況。そのためこれから災害VCの運営に注力していくための準備として、能登町社協の職員と協力してニーズ調査を実施し、通信機器の環境整備等を行うところからのスタートでした。

現地では主に、駆け付けたボランティアと被災者とのコーディネートを行っています。具体的には、①災害VCに寄せられるニーズの把握、②被害状況の現地調査、③安全面を確認した上でボランティアを派遣、このサイクルを繰り返しながら途切れることのない支援活動へとつなげています。

また、名古屋市区社協等から派遣する職員については、安心して活動に臨めるよう、派遣前に3時間程かけてレクチャーを実施。さらに、現地では2日間の引き継ぎ期間を設けることで、現地で混乱が起きないように努めています。

現地でなくてもできることがある。名古屋市社協が一丸となる

そして、今回の能登半島地震では名古屋市社協の各部門が連携し、現地以外でも支援活動を行っていることが大きな特徴です。その一つが能登町災害VCのWebサイトやSNSでの情報発信です。能登町社協職員



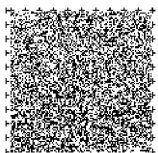
災害VCの様子



倒壊した家屋



ボランティア活動の様子



や名古屋市区社協等の派遣職員が被災者やボランティアの声を取材し、作成した記事を名古屋市社協の経理企画部に能登町災害VCのホームページ等に記事をアップし、更新作業を行っています。この取り組みは、多くの対応に追われる能登町社協職員や派遣職員の負担を減らすため、「私たちにできることはないか？」と提案し、実現したものです。その他、名古屋市社協等から派遣する職員の人選は総務部が担当、在宅福祉部ではスマートフォンを派遣職員と本部（市社協）との連絡調整用に貸し出しを実施するなど、職員一丸となって支援に取り組んでいます。

いずれ来る、その日のためにできることを

7月末までに、全46クール、のべ93人の職員を派遣してきましたが、復興の目途がたったと言える状況ではありません。ブロック派遣が終了となったため、名古屋市区社協等の職員派遣は7月末で終わりましたが、能登町災害VCのホームページ更新作業等の後方支援は続けます。

また、これまでに被災地で起こった問題・課題から学んだことを、未来へ生かしていくことも重要です。そのために、日頃からの訓練に加えて、行政やNPOなどと話し合いの機会を設けることや、災害ボランティアを経験したことのない職員への啓蒙活動にも、注力していきたいと考えています。



能登ポーズをする（左から）野川次長、加藤主事



ボランティアに向けた差し入れ

■ 詳しくはこちら
能登町社会福祉協議会
instagram▶



派遣職員 1日の流れ（一例）

8:15	8:30	12:15	13:00	15:30	16:00	17:00	17:15
出勤・朝礼	ボランティア集合・受付・オリエンテーション・活動紹介・マッチング・送り出し・ボランティア対応・現地調査	休憩	マッチング・現地調査・ボランティア対応	片付け・各種証明発行事務・ボランティア活動終了	実績集計・明日の活動準備	実績報告・終礼	

被災地 🗺️ 派遣職員の声



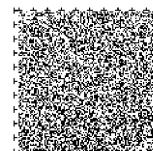
港区社会福祉協議会 災害ボランティア担当 足立 雅典 主事 第5クール 2月7日～2月14日

災害VCに寄せられる困りごととして、地震によって倒れ壊れてしまった家電製品や屋根から落ちて割れてしまった瓦の搬出、また台所に散らかる食器の片付けを手伝ってほしいという内容が多く、次から次へとご相談の電話を受けました。その方がいま困っていることをお聞きすると共に、被災され不安の中で生活されている気持ちに対しても寄り添うことを意識して活動にあたりました。



熱田区社会福祉協議会 災害ボランティア担当 小泉 詩乃 主事 第18クール 4月3日～4月9日

主に依頼者とボランティアのマッチングを行い、ボランティアさんを依頼者宅へ派遣する業務を行っていました。日々遠方から来てくださるボランティアさんが意欲的に活動してくださる姿が印象的でした。特に印象深いのは、若い世代の団体ボラに話を聞き「捨てるものでもひとつひとつにその家庭での思い出があり話を聞きながら作業をした。最後に依頼者から涙ながらに『ありがとう』と言われ、自分たちの活動が誰かの力になれたら良い」と話してくれたことです。他にもたくさんのボランティアさんとお話させていただき、貴重な体験をさせていただきました。



＼わたしたちは名古屋市社会福祉協議会です／

—「誰もが安心して笑顔で暮らす福祉のまち名古屋」の実現のために—

地域住民同士の助け合いをサポートします



- 地域支えあい事業
- ふれあい・いきいきサロン活動
- 地域福祉推進協議会（推進協）の支援

住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、住民が主体のまちづくりを支援しています。

生活の困りごとの解決を支援します



- いきいき支援センター
- 仕事・暮らし自立サポートセンター
- 住まいサポートなごや

本人やご家族などから生活の課題についてのご相談を受け、解決に向けて関係機関と協力しながら支援します。

ボランティア活動・福祉教育を推進します



- ボランティアセンター事業

ボランティアやNPO活動に関する情報発信や、ボランティアしたい方としてほしい方のマッチングを行います。
市内のボランティア団体のネットワークづくりも行っています。

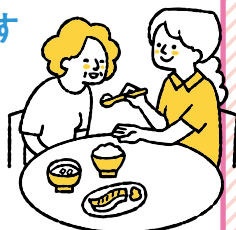
判断能力に不安のある方の暮らしや財産を守ります



- 日常生活自立支援事業
- 高齢者・障害者権利擁護事業
- 法人後見事業

障がいや認知症などで判断能力に不安がある方の金銭管理や、成年後見制度に関する相談、申立ての支援を行っています。

在宅福祉サービスでその人らしさを応援します

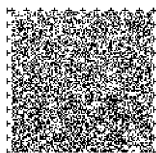


- なごやかヘルプ事業
- 居宅介護支援事業
- デイサービスの支援

ホームヘルパー（なごやかスタッフなど）の派遣や居宅サービス計画の作成などを通して、高齢者や障がいのある方の生活を応援します。

他にもこんな取り組みがあります

- 指定管理施設の運営
（とだがわこどもランド、鯉城学園、総合社会福祉会館）
- 福祉サービス苦情相談センター
- 福祉基金の運営



Vol. 58 今回は…熱田区社会福祉協議会

食支援を通して地域がつながる「あったか食サポート事業」

熱田区社協と一般社団法人愛知子ども応援プロジェクトは、令和4年10月1日に協定を結び、食の支援を通して、誰もが安心して暮らすことができる地域づくりを進める「あったか食サポート事業」をスタート。愛知子ども応援プロジェクトでは、企業から支援を受けた食料品や助成金で購入したお米などを、愛知県内のハブ拠点に定期的に配送し、近隣の子ども食堂などが受け取りに来るスキームを確立しており、熱田区社協がそのハブ拠点の一つに加わりました。

現在、熱田区社協では食料品の保管・配布を行う拠点を熱田区在宅サービスセンター・熱田区デイサービスセンターに置き、毎月1回、届けられた米や総菜などの食料品を、地域の子どもの食堂や学習支援団体、生活困窮家庭などへ配布しています。

「食」はつながり続けるためのツール

熱田区社協がタッグを組む愛知子ども応援プロジェクトは、地域に寄り添う活動を行う団体への後方支援を手掛けており、代表理事の藤野直子さんは「私たちが届ける食料品は、困っているご家庭と地域とがつながり続けるためのツール。熱田区社協さんを通じて、つながりの輪を広げられた」と話します。

熱田区社協の田中和快さんも、「それを強く感じるのが、生活困窮家庭にお届けした時。それまで訪問を拒絶していた家庭が、食料品をきっかけに会ってくれるようになり、次の支援につながることも」と実感を込めて語ります。

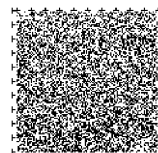
地域の「子ども食堂」のためにできることを

本事業を始めるにあたっては、令和4年に熱田区の白鳥学区地域福祉推進協議会が立ち上げた「しろとり子ども食堂」の影響があったといいます。「熱田区社協の会長でもある中田俊夫会長から、子ども食堂を利用する家庭の現状や運営の苦勞を聞き、社協でもサポートしようという声が挙がった」と田中さん。

しろとり子ども食堂の運営に携わる水野真佐子さんは「支援のおかげで、物価高の中でも子どもたちに食事や食料品を届けられている」と感謝をにじませます。



次ページへ続く





今後の展望について



「現在、200を超える企業、個人の皆さまからの食料品や寄付の支援をいただいています。これからも安定して事業を続けるため、利用者からの声をフィードバックするなど、支援いただく皆さまの理解に努めたい」と藤野さん。田中さんは「今は、名古屋市内16区すべてに拠点があるわけではありません。熱田区社協から、別のエリアの拠点、そこからまた別の拠点へと広がる仕組みづくりができれば」と支援の拡大へ意欲を見せていました。

お問い合わせ

熱田区社会福祉協議会
住所：熱田区神宮三丁目1番15号
TEL：052-671-4019



本事業でつながる熱田区社会福祉協議会、
一般社団法人愛知子ども応援プロジェクト、
しろとり子ども食堂の皆さん

リレートーク

想いをリレートーク 58

社会福祉法人新生会 あしたの丘

こんにちは、私たち社会福祉法人新生会は、障害者支援施設として入所支援及び通所支援を行うとともに、障害者、障害児の相談支援事業等の運営をしております。

1995（平成7年）年4月1日に身体障害者療護施設及びデイサービス事業（あしたの丘）等の運営を開始し、社会福祉基礎構造改革のなかで、新法（障害者総合支援法）の体系に移行し、現在に至ります。

しかし、社会福祉法人としての歴史は、もう少し長く、1975（昭和50年）年に社会福祉法人新生会を設立し、翌1976（昭和51年）年に、腎臓疾患のある方々に対応する「新生会附属診療所」を開設するとともに、腎臓機能障害が、身体障害者福祉法で「内部障害」と位置付けられていたことから、内部障害者更生施設・新生学舎を開設し、およそ50年にわたり障害者の医療及び生活支援にあたってきました。

こうした経緯から当施設には診療所が併設されており、この特徴を生かし、人工透析が必要な方でも入所できるシステムが整っております。

医療との連携を図りつつ、外国人スタッフも加わり、障害のある方々への総合的な幅広い視野での生活支援を目指しております。

楽しく働けるよう職員の働く環境を向上させれば、利用者支援の質も向上します。そんな考えで日々頑張っております。

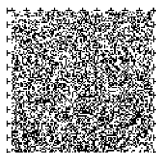


次回は

社会福祉法人 八起社
老人ホーム 誠和荘
総括荘長 加藤 仁さん



へバトンタッチ



旬ボラ[☆]に行く!

ほっと
はあと

01

おもちゃで遊んでホッとできる 親子の交流スペースをつくります。 [名東おもちゃ図書館ちゃちゃちゃ]

1階ロビーで読み聞かせ



「おもちゃ図書館」とは、親子が自由に好きなおもちゃを選んで遊び、また家でも遊べるようおもちゃの貸出をるところです。今回は、昨年新しくオープンしたおもちゃ図書館「名東おもちゃ図書館ちゃちゃちゃ」さん取材しました。

●おもちゃ図書館を始めるきっかけは?

名東区子育て応援拠点「にじのアーチ」の利用者アンケートで、「おもちゃの貸出があればいいな」との意見が寄せられたのがきっかけです。当時の区役所担当者に話をしたところ、タイミングよく今の開催場所となっている名東生涯学習センターの館長さんとつながることができ、そこから話が進みました。館内に絵本のコーナーを作られることや館長さんの想いもあって、場所を提供いただけることになりました。また、地域のボランティアの方が子育てサロンを開催されていたので、サロンとおもちゃ図書館が同時に開館できればと、今は子育てサロンを引継ぎ、おもちゃ図書館と同時に運営しています。

●どんな活動をされていますか。

おもちゃ図書館と子育てサロンをスタッフ、ボランティア合わせて5～6名で毎月第3木曜日に運営しています。おかげさまで来館者が多く、一度にご案内できないので、整理券を配布して対応しています。2階で開催しているおもちゃ図書館の順番を待っている間には、1階ロビーでおもちゃの返却対応やボランティアによる読み聞かせをして案内時間まで過ごしていただいています。

スペースに余裕がないので、おもちゃ図書館では借りるおもちゃを親子で選んで借りてもらい、サロンスペースに移動して遊んでもらうといった流れになっています。本当はゆっくり過ごしてもらいたのですが、借りてすぐに帰られる方もいて、運営の課題を感じています。

●来館者やボランティアの方にもお話を伺いました!

- うちでは買えない大きなおもちゃが借りられるし、お試しができるのがいい。借りたおもちゃが気に入ったので、後で自宅用に買いました。(数回利用の方)

入ったので、後で自宅用に買いました。(数回利用の方)

- 生後半年で何が好みかわからないけど、揺れるおもちゃを借りることができたので来てよかったです。(初めての利用の方)
- 引っ越してきたので知り合いもいなくて。近くにこういう場所があることがいい。(数回利用の方)
- 2～3回来てもらうと知った顔ができたり、同じ月齢の子どもを持つ親同士の繋がりができているのが微笑ましい。おばあちゃんの年齢だけど、こういう活動で交流ができ私も元気がもらえます。(ボランティアスタッフ)

●活動への思いや、読者へ伝えたいことは?

おもちゃ図書館を「居場所」に、また、人とつながる場として過ごしてほしいと考えています。おもちゃを借りに来るだけじゃなくて、子育てに悩んでいることなどを遊びに来たついでに相談いただくなど、ちょっと一息ついてもらえる場所にしたいです。

多い時には30組～40組の参加があり、いまは利用者を未就園児の親子に限定せざるを得ない状況ですが、将来的には、おもちゃの数を増やし、対象年齢を広げて、その場で自由に遊びながら借りるおもちゃを選べるようにしたいと思っています。そのためにも、開館時間を延長することやサロン機能の充実も検討していきたいと考えています。おもちゃ病院にも来てもらいたいですね。



おもちゃを1つ1か月間借りられます

隣のサロンで
親子遊び・交流

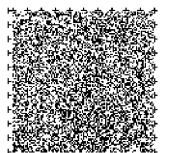


名東おもちゃ図書館
ちゃちゃちゃの皆さん



【お問い合わせ】

名東おもちゃ図書館ちゃちゃちゃ (運営: 名東区子育て応援拠点にじのアーチ)
TEL: 052-725-8311
※おもちゃ図書館開館日: 毎月第3木曜日10:00～11:30 名東生涯学習センターにて



きらっと ボランティア・NPOらいぶ



ほっと
はあと

02



やりがいは、仕事の外にも あればもっといい！

[NPO法人教員副業コーディネーターまちまち]

取材担当は同じ教員の
ほっとはあとメンバー



小学校教諭で3児の父、そしてNPO法人「教員副業コーディネーターまちまち」の代表も務める柴山恭毅さん。教員という仕事のやりがいを誰より感じるからこそ、あえて教員の「副業」を支援する、その思いを聞きました。(インタビューア-：ねこめい)

●**地域貢献活動制度（教員が地域に貢献する形で副業できるシステム）を広める活動をされています。きっかけはなんだったのでしょうか。**

僕自身が教員になってから、同僚の離職や日々の業務でしんどそうな先生たちの様子を見てずっともやもやしていました。「お疲れ。大丈夫だよ」などの励ましの言葉だけじゃなくて、目の前で困っている一人のために、自分一人でもできることはないか…。そう考えていた去年夏ごろ、地域貢献活動制度を知りました。早い自治体では2017年から始まっていたのに、全然知られていない。もっと多くの教員がこの制度を知って使って、地域とつながりをもつことで、自分の持ち味を発揮でき、興味のあることに深く関われるかもしれない。そんな風に学校以外の場所で新たなやりがいを感じられたら、結果的に、教員を辞めずに済む人がいそうだなと思ったんです。これだ、と思ってからはとにかく突き進んで、数ヶ月後には身近な学校関係者とまちまちを立ち上げ、広める活動を始めました。

●**たった数ヶ月で立ち上げてしまうなんて！現在はどんな活動をされているのでしょうか。**

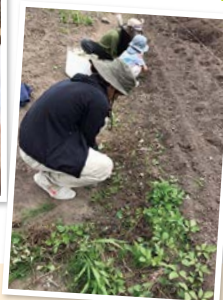
教員一人一人に合いそうな地域団体を、僕自身で見つけてきてコーディネートさせてもらったり、最近では、教員が得意を生かして地域の子どもに書道やけん玉などを教える、体験イベントなどを企画したりしています。教員のみなさんは強みをたくさん持っています。ぜひ一緒にやりましょう！



映画「イエスマン」が大好き。
迷ったらやってみよう
と思うきっかけに。



活動先の開拓のため、
自ら積極的に
体験されている。



●**つなげる活動ですか！柴山さんご自身はこれまでに、ボランティア経験や地域とのつながりはあったんですか？**

ほとんどありませんでした。しいて言うなら、高校・大学で所属していたサッカー部の顧問の意向で、地域のゴミ拾いや子ども向けサッカー教室を開催したことはありました。僕は、やるとなったら手を抜けない性格で、かなり真剣に取り組んでいたせいでとても忙しかったです(笑)。でも、ゴミ拾い中、通りすがりのサラリーマンに「ありがとうね！」とジュースを奢ってもらったり、サッカー教室受講生の保護者から直にお礼の言葉をもらえたりしたことは、嬉しかった思い出としてずっと心に残っています。

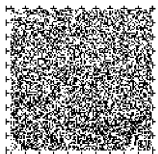
また、以前は休日に息子たちを連れて行くのはショッピングモールや公園ばかりでした。でも、まちまちの活動を通して地域とのつながりができ、息子さんを連れて行ける場所や関わる人が一気に増えました。人見知りだった長男ですが、初めて会う人とも積極的に話せるようになってきていて、成長を感じているんです。

●**仕事や家庭で完結するのではなく、地域とつながることのメリットをご自身の肌でも感じていらっしゃるんですね。**

はい。今後も、少しでも多くの先生方に制度を知ってもらうため活動を続けていくつもりです。その中のほんの数名でもいいから、地域とつながれたことで教員を辞めずに済む人がいてくれたら嬉しいです。いつか、まちまちを介さずとも、教員が当たり前のように地域とつながって何らかの活動をしている社会になっているのが理想だよねってメンバーと話しています。まちまちの必要ない社会…、僕は寂しいんですけどね。

●**最後に、読者の方へメッセージをお願いします！**

教員のなり手不足は近年の大きな社会課題です。働き方の視野を少し広げて教員と地域が楽しくつながれる社会にしていきませんか？学校の先生と地域のみんなが生き生きしていたら、子どもたちの日々もきらっと輝くはずですよ。教員にも教員以外の方にも、地域貢献活動制度のことを教えてあげてください！



【お問い合わせ】

NPO法人教員副業
コーディネーターまちまち



なごやボラめぐり

ほっとはあと

03

東区『高岳珈琲クラブ』の 皆さんにお話しいただきました。



高岳珈琲クラブのみなさん
奥側左より
野田さん、早川さん
手前左より
田村さん、楠さん

今回お邪魔したのは東区のボランティアグループ「高岳珈琲クラブ」さん。

東区社会福祉協議会主催「ひまわりサロン」の一角で、香りのよい珈琲をテキパキとした動きで淹れておられました。

●男性だけの活動グループですが、立ち上げのきっかけは？

2017年の夏に東区社会福祉協議会で開催された、「男の料理教室」に参加したメンバーが「このままお別れではもったいない。続けて何かできないか？」ということで、当時の社協職員の熱心な働きかけもあって、交流を続けていくグループができました。その時点では何をするかは決まっていなかったのですが、社協職員の「コーヒー」を活動に取り入れてはどうかと提案があり、その後も地元の珈琲専門店によるコーヒーの淹れ方講座などを経て「高岳珈琲クラブ」が立ち上がりました。

●活動内容は当初からボランティアだったのですか？

グループ立ち上げ当時の趣旨は「世界の珈琲を楽しもう！」と世界各地の珈琲を取り寄せ、自分たちで珈琲を淹れ、味わい、高齢者男性の月1回の交流を楽しんでいました。15名からスタートして、現在は11名。メンバーのうち5名は90歳を超えています。会長の楠さんは今年96歳になります。

交流場所として社協の部屋を借りるため、またその利用条件がボランティアグループということもあって、2018年6月にボランティアグループとして発足したんです。

発足後は「コーヒーを淹れて楽しんでいただく」ことを目的に、老人会や東区内の高齢者の集まりなどへの出前を行っています。余興ができるメンバー

もいて、珈琲と催し物で喜ばれます。昔のレコードなど曲を聞きながら歌ったり、参加者と一緒に楽しんでいます。

●活動してやりがいは？

いっぱいあって考えちゃう。このボランティアが生きがいになっているんでしょうな。いつもは20杯くらいだけど、今日は47杯も売れました！

ボランティアの時に使うのは仕入先おすすめの「白壁ブレンド」。グループ活動日は専門店のおすすめの世界各地の珈琲を飲んでいますが、味の違いはさっぱり分からないよ。

●ほっとするようなお話はありますか？

珈琲クラブだけじゃなく、認知症予防リーダーもやっています。(田村さん)

余興をやると喜んでもらえるし、期待もされている。(野田さん)

レコードコンサートもやったね(楠さん)

エプロンは珈琲をイメージして僕がデザインしました。(早川さん)

●読者にひとこと

男性はやっぱりほとんど家にいるよね、再三言ってもこない。家にいる男性がいれば、ぜひ参加してもらいたいです。ぜひ！

特別なことはしないけど、珈琲を飲んでよもやま話。毎月第1金曜日に楽しんでいますからお越しください。



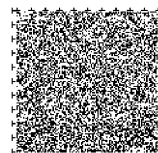
受付で注文を聞いてから、珈琲を淹れます。



この日の豆は「白壁ブレンド」。連係プレーでホットする一杯を届けます。

ひとこと ほっとはあと

ネット上に、ボランティア活動の多様性確保のためにはボランティア界の若返りが必須という趣旨の英国のレポートがありました。高齢者が生き甲斐としてボランティアをするのは素晴らしいことだ、ただし…と、レポートは問題を投げかけていました。この『ふれあい名古屋』の編集ボランティアには、最近若いメンバーが増え、中には子どもたちと接する機会が多い先生も！ボランティアの多様性確保ノウハウ、私はいつかあの英国のレポーターに教えてあげたいです。
(ペンネーム 旅する食いしん坊YM)



からだに
優しい

いきいきレシピ



＼お腹の中からキレイ＆健康に！／

鮭とキノコの焦がしバターごはん

キノコは、腸内環境を整えるために必要な食物繊維が豊富で、さらに低カロリーです。また、鮭の色素であるアスタキサンチンは美肌効果が期待できると言われています。香ばしいバターしょうゆで食欲もUP！食欲の秋にぴったりのレシピで、お腹の中からキレイ＆健康を目指しませんか？

材 料 (2人分)

- 米……………1.5カップ
- キノコ(しめじ、まいたけ、エリンギ、しいたけ)……………各1/4パック
- 鮭切り身*……………1切
- 油……………小さじ1/2
- 水……………1.5カップ
- 酒……………大さじ1
- しょうゆ……………大さじ1/2
- 和風だしのもと……………小さじ1/2
- 塩……………一つまみ
- 《焦がしバターしょうゆ》……………
- しょうゆ……………大さじ2/3
- バター……………5g

- ① 米を洗い、ザルにあげて水気をきる。鮭をグリルで焼く。キノコを手で割く。
- ② 熱したフライパンに、油を入れ、半量のキノコと少々塩を加え、中弱火でじっくり炒め、キノコの旨味をだす。0.5カップの水をフライパンに加えた後、火を止め、さらに1カップの水を加え、あら熱をとる。
- ③ 炊飯器に米、②と(A)を入れ、ざっくりと混ぜた後、残り半量の生のキノコと焼鮭を入れ、炊く。
- ④ 炊きあがったら、鮭を炊飯器から取り出し、骨を取り除く*。熱しておいたフライパンを中弱火にし、しょうゆを入れ沸騰したらバターを加え、火を止める。
- ⑤ 鮭を炊きあがった炊飯器に戻し、④をかけ、ざっくり混ぜて器に盛る。

※骨取り済みの切り身を使うと手間が省けて便利です。

プレゼントつきクイズ

クロスワードパズルを解いて、プレゼントをもらおう！

タテ、ヨコのカギを解いて色枠に入った文字をA～Cの順に並べると、ある言葉になります。

①→	⑧↓		②→⑩↓	①↓	
③→					
A					B
	④→				
⑦↓					⑩↓
⑤→	⑨↓				
⑥→					
C					

ヨコのカギ (小文字も大文字とします)

- ①めったにない。希少なもの。○○アイテム
- ②春の夜のほのかにかすんだ月。○○○月
- ③自転車で乗って出かけること
- ④ドラマの本編から派生した作品。○○○○○ドラマ
- ⑤高さ634mの世界一高いタワーとギネス世界記録に認定。東京○○○○○
- ⑥タネや仕掛けを使って不思議な現象を起こす曲芸の一種

タテのカギ

- ⑦間仕切り・押入れの扉などに使用される日本独自の建具。
- ⑧夏に食べたくなる冷たいスイーツ。○○○クリーム
- ⑨炊事・洗濯・掃除など、生活に必要な作業全般
- ⑩4年に1度開催される世界的なスポーツの祭典。
- ⑪お盆の時期に老若男女が集まり、踊るおどり。
- ⑫持ち手が2本あり、多用途で用いられる手持ち靴。○○○バッグ

正解発表

2024年12月号誌上に発表。正解者の中から抽選で10名様に名古屋市長総合社会福祉会にて展示・販売中の授産施設製品の中から500円相当の品を差し上げます。当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

個人情報について

応募いただいた個人情報は賞品の発送および本紙の企画以外に利用したり、第三者には提供しません。いただいたご意見・ご感想の一部を次号の「読者の声」でご紹介させていただく場合があります。

前回の答え

日	進	月	歩
先	行	促	牛
			初
			散
進			歩
物	化	速	合
歳	名	正	連
			期
			明
			線
月			日
食	並	見	向
			没
			課

読者の声

前号ふれあい名古屋6月号より

特集「子ども食堂」について

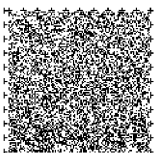
最近良く耳にしており、また知人が子ども食堂に携わっている事もあり、非常に興味深く読みました。少子化にも関わらず、虐待等の子ども達の悲劇が減りません。子ども食堂の一層の発展を強く望みます。

特集「子ども食堂」について

子ども食堂の料理や皆さんの笑顔がすてきです。これだけの事を運営、継続されるのは大変なこともおありと思いますが、居場所として定着されてゆくといいなあと応援(微力ですが)したくなりました！！

きらっとボランティア・NPOらいぶについて

堀川は昔「ドブ」川と呼ばれ近くを歩いたり風向きで臭いにおいがしてました。が、近來皆様の努力で美しい堀川的美観が保たれていると思います。「堀川検定」にも興味あります。



社協からの お知らせ

▶ 赤い羽根共同募金にご協力をお願いします

今年も10月1日から全国一斉に募金運動が行われます。皆さまからの寄付金は多様な福祉活動に活用させていただきます。今年もどうぞご協力をお願いします。

なお、募金の使いみちは赤い羽根共同募金ホームページ「はねっと」で紹介しています。
(<https://hanett.akaihane.or.jp/hanett/pub/home.do>)



ホームページ
はねっと



お問い合わせ先 名古屋市共同募金委員会 TEL : 052-911-3192 FAX : 052-913-8553

▶ 名古屋市鯉城学園がオープンキャンパス（無料）を開催します

●文化祭 11月7日(木)、8日(金)、9日(土)10:30～14:00 定員なし(申込不要。自由にお越しください。)
※舞台発表(コーラス、ダンス等)、作品展示(水彩画、写真、絵手紙など)

●キャンパスツアー 定員20人(各日)※各講座を順に1講座3分～5分程度の見学

金曜コース(10:00～11:00)	11月15日、12月6日、12月13日(共通講座と専門講座4講座)
水曜コース(14:00～15:00)	11月13日、12月4日、12月11日(専門講座5～6講座)

●陶芸体験 11月21日(木)9:30～11:30 定員20人 ※作陶ミニ体験 場所:楽陶館

場所 陶芸体験以外は伏見ライフプラザ 5階、7階～9階

申込 キャンパスツアーと陶芸体験は11月11日から受付、定員になり次第終了します。
この他にクラブ活動(火・木)の見学もできます。詳細は下記まで。

お問い合わせ先 名古屋市鯉城学園 TEL : 052-222-7521 FAX : 052-222-7523

▶ 「令和6年度 つながり・支えあおう地域福祉のすゝめ」開催のご案内

日本福祉大学教授の藤森克彦氏による講演「つながりの持てる地域づくり～家族の変容と社会的孤立への防止～」と、市内の福祉活動実践者等による実践報告を開催します。

日時 10月30日(水)13:30～16:00 会場定員400人

会場 中区役所ホール(名古屋市中区栄四丁目1番8号 地下2階)
地下鉄栄駅12番出口より東へ1分
※集合型とオンライン(YouTubeライブ)の併用で開催いたします。

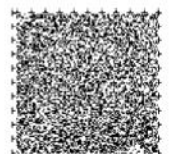
申込締切日 申込チラシにて10月11日(金)までに申込下さい。



日本福祉大学教授
藤森 克彦氏

申込
チラシ

お問い合わせ先 名古屋市社会福祉協議会 地域福祉推進部
TEL : 052-911-3193 FAX : 052-917-0702



ご寄付・ご寄託・賛助会員のご紹介

ご寄付ありがとうございました

令和6年4月16日～令和6年7月15日受付分（敬称略、順不同）

福祉基金への寄付

王 神 / 伊藤 正広 / 松本 英也

匿名8件

市社会福祉協議会への寄付

中日信用金庫 / フコクしんらい生命保険株式会社

匿名7件

なごや・よりどころサポート基金への寄付

NPO法人ICDS / 匿名1件

市社協サポーター（賛助会員）のご紹介

令和5年度・6年度会員（令和6年7月15日現在）（敬称略、順不同）

仁木 雅子 / 小池 博美 / 株式会社マルワ / 鷺見 修 /

木村 剛 / 株式会社せがわ住機 / タック株式会社 /

富田 哲生 / 三谷 洋一 / 北村 泰幸 / 株式会社サンエネック

上村 成良 / 永井 瑛資 / Kのキンパ / 越俣 加絵 / 水谷 巍 /

東洋羽毛東海販売株式会社 / 株式会社ウイングス /

石田 栄美子 / 立松 博 / 王 神 / カシワギ電気株式会社 /

竹中 規子 / 船木 陽子 / 株式会社ラングローバル /

匿名7件

ご寄託ありがとうございました

使用済切手・書き損じはがき・ベルマーク等 令和6年4月16日～令和6年7月15日受付分（敬称略）

マミーベア保育園 / 中日歴史探訪会 / NPO法人雨水利用と緑化を進める会 / ゆかいな仲間 / 山鳩第三子ども会 /

天白まちづくりサポータークラブ / カトリック緑ヶ丘教会 / 寄鷺会 / 角 敬太 / 緑区はつらつクラブ /

中川区手をつなぐ育成会 / 株式会社くくる / 川井 孝司 / 藤田 くみ子 / 榊原 美由紀 / 服部 とみ / ボヤジ会 /

みなみ新体操クラブ / 昭和区社会福祉協議会はつらつクラブ / 社会福祉法人飛翔 /

社会福祉法人八起社老人ホーム誠和荘 / DOTS MEOW MORIYAMA / 北区消費者クラブ

2024年6月号に掲載しました「ご寄託」におきまして、お名前の誤りがありました。

（正）藪本裕信税理士事務所 （誤）藪本裕信税理士事務所

ご迷惑をおかけしましたこととお詫びするとともに、ここに訂正させていただきます。

千種・東・北・中川・南・守山・緑区社会福祉協議会受付分

匿名13件

ご寄託いただいた使用済切手等は、次の団体に送付しました。

団体名	活用方法
ベルマーク教育助成財団	教育環境整備への助成
認定NPO法人 シャプラニール＝市民による海外協力の会	バングラデシュなど南アジアの地域で農村開発や災害対策の支援活動

※使用済切手の仕分け整理は、「ポストの会」「なごや北・男ディ倶楽部」「医療法人名北会デイケアSole」の皆様にご協力いただきました。

※使用済切手・書き損じはがき・ベルマークなどの寄付希望がありましたら、名古屋市社会福祉協議会ボランティアセンターまでお届けください。お届けの際は、本広報誌へのお名前掲載の可否及び郵送希望の有無をお知らせください。

事務局長のつばき



東日本大震災の直後、名古屋市の被災地支援本部の一員として、半年ほど被災地と名古屋の間を行き来しました。あれから13年もの月日が経過しましたが、被災地の生々しい光景は昨日のここのように思い出されます。海の見えない山あいにもで及ぶ津波の爪痕に驚くと同時に、被害を受けた住宅と無傷の住宅が隣接する光景に、運命の境界のようなものを強く感じました。地震や豪雨が頻発する列島に住む以上、誰もが「境界」の向こう側を経験する可能性があります。そんな思いから私の自治会でも防災用品の確保や、非常時の対応マニュアルの作成など災害に備えた取組を始めました。

名古屋市社会福祉協議会事務局長 柄澤 克彦



ひとに、ひたむきに。
社会福祉法人
名古屋市社会福祉協議会

〒462-8558

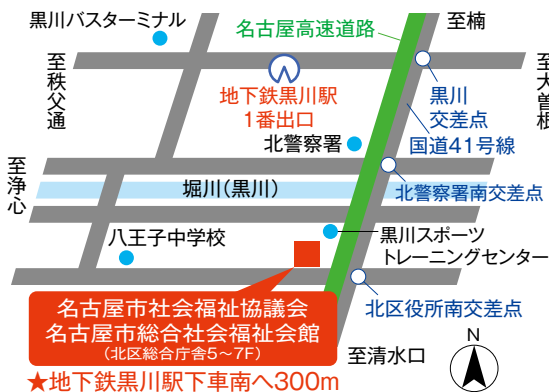
名古屋市北区清水四丁目17番1号

名古屋市総合社会福祉会館内

TEL 052-911-3192 FAX 052-913-8553

ホームページ：<https://www.nagoya-shakyo.jp/>

E-mail：nagoyaVC@nagoya-shakyo.or.jp



※この広報紙は福祉基金を活用して作成しています。
※この広報紙は古紙ハルブを含む再生紙を使用しています。
※市内社会福祉施設、民生委員・児童委員、大学などへの配布及び公共施設に配架しています。

広報紙「ふれあい名古屋No.146」

発行日：令和6年9月1日 発行部数：13,000部

